

ゲンノショウコ



日本各地の山野や道の
近くに、ふつうに見られる
フウロウソウ科の多年
草。下痢止めの特効薬と
言われているが、効果は
実に広く、赤痢、腸カタ
ル、食傷、リン病、子宮
内膜炎、便秘等によく、
万病の靈薬として賞賛さ
れている。

ゲンノショウコという
名前は薬効からきた名
で、この草の乾燥したも
のを煎して飲めば下痢は
「現の証拠」にたちどこ
ろになおるということか
ら生じた名である。テキ
メンソウ、タチマチグ
サ、イシャイラズ、イ
シャダオシなどの方言が
ある。

採取する時期は花のあ
ることで、花の初期ごろ
が一番よい。昔から夏の
土用の丑の日（七月下
旬）頃に取ればよいとい
われている。刈取った後
は出来るだけサッと水洗
いし、乾燥するには、カ
ゴの上に括げて、天日で
速やかに青く干し上げ、
夕方には必ず納屋に取り
入れ、夜晩に当てない様
にする。昔はどこの家庭
でも乾燥したゲンノショ
コをかんで飲みこむ
とよい。

ウコが軒先にぶら下がっ
ていたというほどです。
茎と葉が薬用部分になり
ます。

薬 効

古くからよく用いられ
ており、主として消化器
疾患、健胃、整腸、下痢
止めとして用いられる。
成分はタンニン、没食子
酸等である。

使用方法

腹痛、下痢、腸カタル
乾燥させてきちんとだも
の20～30gを水0.7l
(約4合)でその半分位
になるまで煎じつめ
(しょう油色位になるま
で濃く煎じる)、これを一
回に頓服すれば即効があ
ること。その後2～3回服用
するといい。熱いうちに
飲むのがこつである。ゲ
ンノショウコを飲んで
も下痢が止まらないの
は、少しばかり入れて、
ちょっと煎じて、さめた
ものを飲んでいるからで
ある。

山で下痢、腹痛を起
した時 応急措置として
茶代りに飲む。

胃潰瘍、十二指腸潰瘍
はぶ茶20g、ゲンノ
ショウコ20gをあわせて
4合の水で、とろ火で30
～40分煎じて2合にして
服用する。

子宮内膜炎、帶下

(こしけ)

ゲンノショウ
コを常用していると、
よくあたたまり、帶下も
なくなる。

風邪、頭痛 干したの
20gを煎じて、熱いうち
に飲む。

口内炎、口角炎 20g
の濃い煎汁を口に含み、
口をぐぢぐぢして5分位
して吐出す。

高血圧の予防 ゲンノ
ショウコ10g、ドクダミ
10g、決明子5gをいつ
しょに煎じてお茶代りに
飲む。

腎炎、ネフローゼ ゲ
ンノショウコとハブ茶を
合わせたものを煎じてお
茶代りに飲む。

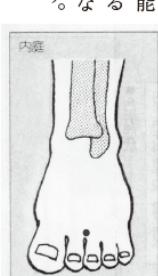
健康、整腸 胃腸の弱
い人は、ゲンノショウコ
10g、ハブ茶(決明子)
10gをあわせて煎じ、お
茶がわりに飲んでいる。
と、胃腸は丈夫になる。
ゲンノショウコ単独では
一日15～20gをごく薄く
煎じてお茶がわりにして
飲む。

常習便祕 一日20gを
0.6lの水で煎じ、煮
立つたらすぐ火からお
ろし、他の容器に汁だけ
とって、冷たくしたもの
を3～4回に分けて食前
30分前に飲用する。飲
み方によつては下痢止め
が緩下剤になつたりもす
る。下剤を服用すると腹
痛が起つたり、又便が

すつきり出ないような人
によい。

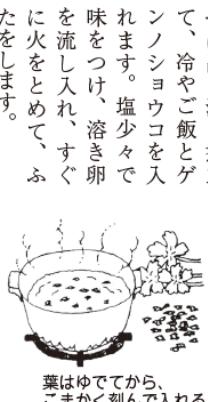
胃潰瘍、十二指腸潰瘍
はぶ茶20g、ゲンノ
ショウコ20gをあわせて
4合の水で、とろ火で30
～40分煎じて2合にして
服用する。

「内庭」は、消化不良などにより熱を帶
びた胃を鎮め、胃の機能を回復させる
のに効果的なツボなのです。



手 技 療 法

内庭



葉はゆでてから、こまかく刻んで入れる

ゲンノショウコ入りおじや

春から夏にかけて流行
する病気で、夏風邪の
ウイルスの中でも、主に
コクサッキーワイルス16
型、エンテロウイルス71
型が原因となつて起こります。
赤ちゃんもかかりますが、保育園や幼稚園
など、集団生活をしている
幼児に多く見られます。
潜伏期間は2週間く
らいで、その病名のとお
り、手のひら、足の裏、
口の中、周囲が赤くて、
真ん中が白い米粒大の水
泡ができます。手足で
きた水泡は、少し痛がゆ
いのが特徴です。口の中
にできた水泡は、頬の内
側、舌、歯ぐきや唇にも
でき、それが破れると痛く
なる時もあります。いつ
もより、いやにぐずり、
哺乳瓶を受け付けな
かつたり、食事を嫌がる
時は、口の中を見てみて
下さい。



手足口病



Cがとけだしたり、加
熱によつてもいたくらか
こわされること等が関係
しているそうです。

野菜をゆでる時、ひ

とつまみの塩を加えて
みて下さい。ビタミン
Cがこわれにくくなり
ます。なぜかといいます
と、野菜の中の酸化酵
素がビタミンCを酸化
させ、やがてはこわし
てしまつたり、ゆで
しまう。口内炎も1
週間くらいで治ります。

家庭でのケア・・・熱
も高くなく心配のいら
ない病気ですが、口内炎が
痛むため食欲がなくなり
ます。熱いもの、塩辛い
もの、硬いもの、酸っぱ
いものを避けて、口当た
りのいいものを回数を分
けて食べさせましょう。
それでも食べないときに
は、とにかく水分だけで
も取らせて下さい。お風
呂は発疹が消えてからが
よいでしょう。熱がなければ
シャワーなどでさつぱりさせてあげましょう。